

「親の学習」プログラム

1 — 2

幼児を知ろう

最近、幼児と触れ合う機会がありましたか。小さい子供は、あなたにとっては「かわいい」存在、それとも「たいへんな」存在ですか。でも、そんなみなさんも、ちょっと前は幼かったはず、、、。

今回は、親子のふれあいの様子を観察し、日頃の子育てについて聞いてみましょう。

そして、自分の幼児期を振り返り、今の自分の成長と家族とのかかわりについて考えてみましょう。また、親になるということについても考えてみましょう。

ワーク
1

親子のかかわりを観察し、気づいたことなどをメモしましょう。

また、グループで話し合い、自分が気づかなかったことも付け加えましょう。

気づいたこと 1

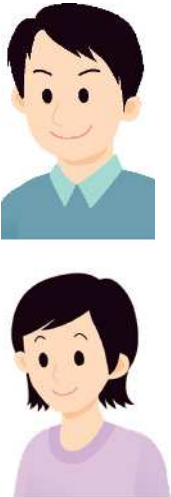
気づいたこと 2

インタビューしてみたいこと



ワーク
2

ワーク1で考えた、インタビューしてみたいことを直接聞いてみましょう。
グループでインタビューをして、大切だと思ったことはメモしましょう。



ワーク
3

インタビューをして大切だと思ったことについて、自分の小さかったころのことも思い出しながらグループで話し合い、発表しましょう。

○みんなの発表を聞いて、気づいたこと

ふりかえり

① 子育てをしている保護者の方の様子やお話を聞いての感想を書いてみましょう。

② 幼児の様子を観察していた時の、幼児に対する気持ちを書いてみましょう。

ワークシート 1

幼児を知ろう ～自分の成長を振り返ってみよう～

自分をよく知っているお家の方や周りの方に聞いてみよう。

小さい頃好きだった食べ物

小さい頃よく遊んだ遊び

小さい頃の宝物・大切にしていた物

小さい頃はどんな子でしたか。

どんな子供に育ってほしかったですか。

ワークシート2

自分史を作ってみよう

自分自身が成長したと感じたのは、いつ頃・どんな場面でしたか。これまでを振り返って、書けそうなことを書き出してみましょう。枠の中は自由に使ってかまいません。

（記入例：「〇〇ころ、〇〇ができるようになった。」など）

自分の成長史を書いてみて…